

大会名称：第73回国民体育大会 バスケットボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 永平寺緑の村ふれあいセンター Aコート

試合区分: No. 7 成年男子 準々決勝

期日：2018(H30)年10月2日(火)

開始時間：13:50

終了時間: 15:20



主審：岩木 太郎（京都府）

副審：中川 行臣（静岡県）

埼玉 (関東)	○ 83	22 — 26 21 — 20 20 — 18 20 — 11 — — —	● 75	愛知 (東海)
-----------------------	----------------	---	----------------	-----------------------

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

埼玉マンツーマンとゾーンのチャンジングディフェンス、愛知マンツーマンでもスタートする。愛知#5のリバウンドからのシュートで先制する。その後は一進一退の攻防が続く。所要部のシュートを確実に決めた愛知が26-22のリードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオドに入ると、開始5分、埼玉#1の3点で逆転。オズマ愛知サブが入れ返し再逆転。その後は一進一退が続く。残り1分、埼玉#13の3点で1点

第2ヒロオドモ、互いの攻撃から目を離せない。開始3分、埼玉#4の3Pで逆転。すぐに愛知#7が入れ替り再逆転。その後はソーカームが続く。残り1分、埼玉#13の3Pで1点リードするも、愛知#7にショット、#5にフリースローからのリバウンドを押し込まれ、46-43の愛知リードで前半を終了する。

埼玉#6の3Pの逆転ショートから始まる。当たりの激しくなった埼玉に対し、愛知は攻め手を欠く。残り5分、埼玉#6が3Pを決める。波に乗った#6は、3P、2Pと貴重となる場面でショートを決め、徐々に差を広げる。最後はファウルトラブルになった愛知から得られたフリースローを#4が4本連続で決め、埼玉が85-75で勝利を手にした。手に汗

报告表-第三章-16-执行性报告-执行计划-执行评估

Electronic copy available at: <http://ssrn.com/abstract=1111111>

